

シャトルは種類によって何が違うのか

目的：部活で使用するシャトルの種類ごとの特性を知り、そのシャトルにあった打ち方を試合や練習に活かす。

仮説：値段が高いシャトルほど高く遠くに飛ぶ

検証①

エアロセンサ200,エアロセンサ500, NEWOFFICIALの3種類の詳細を比べる

シャトルの種類	エアロセンサ200	エアロセンサ500	NEWOFFICIAL
素材	水鳥(アヒル)	水鳥(ガチョウ)	水鳥(ガチョウ)
コルクの種類	PUコンポジット	天然コルク	天然コルク
検定	×	×	第一種検定(全国大会で使用可)
シャトルの強度 *10点満点	7,7	8,8	9,3
値段 *1球あたり	210円	270円	440円

*シャトルの強度はアンケートをとって平均した数値

結果：シャトルの種類によって、値段や使っている素材が違ふと考えた。

検証②

種類ごとのロングサーブの軌道を比較する
赤・エアロセンサ200
青・エアロセンサ500
緑・NEWOFFICIAL



考察

シャトルの種類によって、値段や使っている素材が違ふと考えた。値段や素材を比べると、NEWOFFICIAL>500>200の順番で質が上がるが、飛び方を比べるとそこまで顕著な差がないことがわかった。打つ人の力加減や立つ位置が常に一定ではないので、少しだけ差ができてしまうのかなと思った。

まとめ

シャトルは種類ごとで質には違いがあるが、飛び方にはあまり違いがないことがわかった。また、練習で使用するシャトルは質や値段を考慮して、500を使用するのが一番いいと思った。シャトルは今回研究した3種類だけではなく、羽までプラスチックのものやもっと値段が高いものがあるので機会があればまた研究したいと思った。

参考文献

「YONEXのシャトルと違いまとめ」<https://xn--y8jyb6s1a.com/2022/02/20/yonex%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%83%A3%E3%83%88%E3%83%AB%E3%81%AE%E7%A8%AE%E9%A1%9E%E3%81%A8%E9%81%95%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%A8%E3%82%81%EF%BD%9C%E3%83%81%E3%83%BC%E3%83%A0%E5%88%A5%E3%81%8A%E3%81%99/>

「バド研マスターが教えるバドミントンシャトルの選び方」

https://www.ganbaranai-bad.com/c/sp_shuttle